



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

実りの秋に向けて

校長 早川 修一

42日間の長い夏休みが終わり、校内に元気な子供たちの声が戻ってきました。

今年の夏休みは、いつもだと夏真っ盛りの時期に雨が多いという例年にない天候でした。後半の水泳指導が始まる頃からやっと天気が戻り、8月の終わりには夏らしさが戻り、いい夏の終わりを迎えることができました。

学校は防火シャッターの工事が入ったこともあり、工事用フェンスが校庭の一部を覆う状態でしたが、夏季水泳指導も学力補充教室も無事行うことができました。15日間設定してあった水泳指導ですが、今年は雨で中止になったのが1日だけで、のべ3,035人の子供たちが参加し、参加率は約44%でした。また、ねりっこひろばや校庭開放では、夏休みもたくさんの子供たちが楽しそうに遊んでいる姿が見られ、嬉しくなりました。

ご家庭や地域での夏休みの子供たちの生活の様子は、いかがでしたでしょうか。きっとそれぞれに充実した夏休みを送ったことと思います。

さて、今年4月に行われた国の学力調査結果が先日発表されました。詳しい分析はこれからですが、「児童質問紙」回答結果の一部をお知らせします。

次の項目で全国や東京の平均よりやや高い傾向が見られました。「自分にはよいところがある」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」「将来の夢や目標をもっている」「家の人と将来のことについて話す」「家で、自分で計画を立てて勉強している」「新聞を読んでいる」

一方で、次の項目で全国や東京の平均よりやや低い傾向が見られました。「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞ける」「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」

結果を更に詳しく分析し、これからの指導に役立てて行きます。詳しい調査結果については、追ってお知らせいたします。

これから冬休みまでの4か月間は、1年の中でも一番長い学習期間となります。まだしばらくは残暑が続きますが、間もなく秋らしくなり、学習するにも、スポーツをするにも、読書をするにも、一番良い季節です。移動教室や学芸会のような学校行事もありますが、地域の行事も盛りだくさんの秋です。

子供たちにとって素晴らしい実りの秋となりますよう、保護者の皆様、地域の皆様と連携を深めて子供たちを育てていきたいと思っております。ご協力よろしく申し上げます。

道徳授業地区公開講座【7月8日（土）】 アンケート

道徳授業地区公開講座に、たいへん多くの方々にご参観いただき、ありがとうございました。

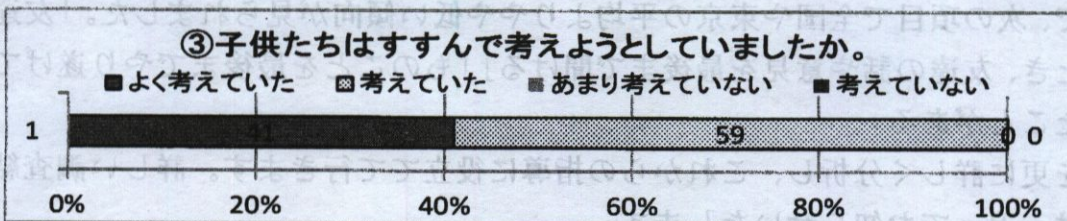
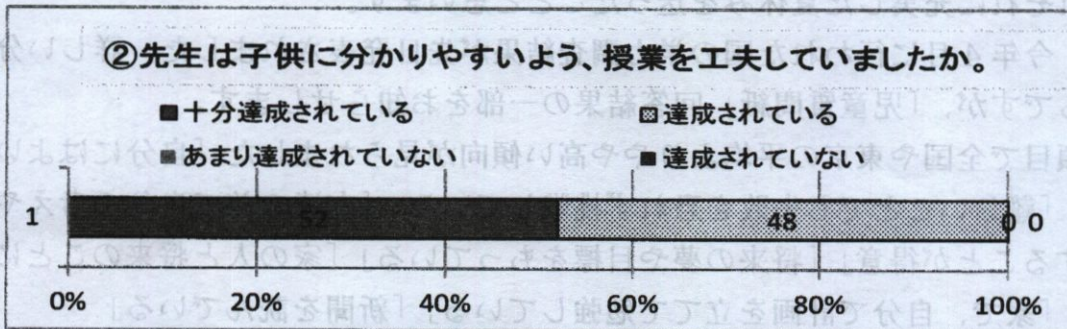
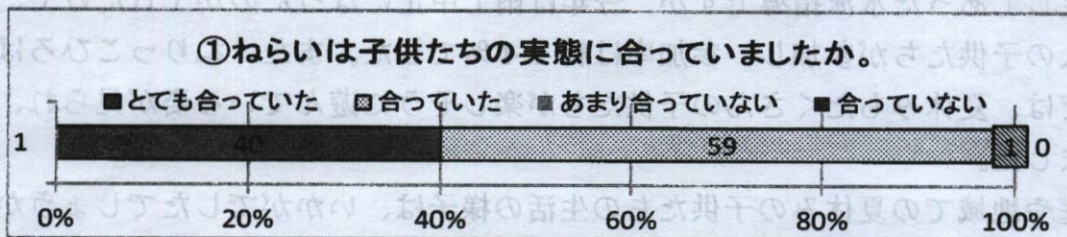
本来、当日に配布すべきアンケートが翌週になってしまい、誠に申し訳ありませんでした。それにもかかわらず貴重なご意見をお寄せいただき、感謝しております。

アンケートでは、当日の指導に関することや「道徳」という授業に関することについて、様々な方向からのご意見をいただきましたが、こうして「道徳」について保護者の方々とともに考え、手を携えて子供たちを育てていくことが大切だと改めて感じています。

「道徳の教科化」は、新しい学習指導要領の中でも注目すべき改革の一つです。本校では、今年度の校内研究のテーマを『かわりを大切に、心豊かに生きる児童の育成～「考える道徳」・「議論する道徳」を通して～』と設定し、研修をすすめているところです。今後も、いただいたご意見を参考に、子供たちの豊かな心を育て参りたいと考えています。

授業参観者数延べ 344名 (69.1%) アンケート回収率 17%

- ①ねらいは、子供たちの実態に合っていましたか。
 ②先生は、子供に分かりやすいよう、授業を工夫していましたか。
 ③子供たちは、すすんで考えようとしていましたか。



- 多くの意見や考え方を引き出していただき、広く深く考えるきっかけになったと思います。
 ○みんなが使うものを大切にする、という公共心を身に付けさせるための内容と捉えました。次々と子供たちが手を挙げて、意見を重ねるごとに自己中心的な行動を恥じたり、相手の立場になって考え、「ごめんなさい」と伝える必要があるのではということにまで発展したところに、子供たちのまっすぐな気持ちが表れていたようです。シンプルなジェスチャーや泥汚れの再現などもたいへん分かりやすく、先生方の細やかな準備・工夫が感じられるポイントでした。

- 家庭+学校、で子供たちの心の育ちをサポートしていきたいと考えています。
- 理想ばかりを求めてもいけないとは思いますが、何が理想で現実はどうなのか、両方の立場から想像して考えられるようになってほしいです。当たり前なのが難しい世の中。思いやりをもって人生をエネルギーに生きてほしいです。
- 今回の題材を見て、本当にこんなことがあったということにまず驚きました。子供たちは自分なりの考えをもち、グループでも共有できて良かったと思います。私個人的には、道徳が教科となり評価の対象になることには疑問がありますが、助け合う、支え合う、みんなでやり遂げるにはどうすればいいかなど、小さな頃から考え、協力し合うことは大切だと改めて感じました。
- 以前行われたスポ育でのブラインドサッカー選手との交流で子供たちが感じたことや得たものがいかされていたように思います。

- ▲一部の同じ子ばかりが発表していた。
- ◆道徳授業の目的が決められた問題に対して、子供たちを一つの正しいとされる選択へ導くものであるなら、目的を達成していると思えました。もし、自分の行いに対する「気づき」がテーマであるのなら、そこまでの到達は難しいと感じました。道徳授業は、自分が子供の頃から、大事なものはわかっていてもどこか空々しい感じがして何ともいえない気分になります。おそらくそこは、実生活において、親が授業をふまえて伝えていくものなのかもしれません。
- ◆やってしまったこと（いけないこと）に対して反省することも大切ですが、やってしまったことに対してどう対応できるかも大切だと思えました。勢い余って汚してしまうことは子供にはよくあることで、今回の授業は「やらない」ことを教えることがメインですが、あやまったり掃除ができたりのいいのかと。また、おばあちゃんが怒ったから気づいたのでしょうか。怒られる＝ダメなこと、のイメージはどうでしょうか。
- ▲国語の読解のようだと思えました。あのような内容であれば道徳というコマを設けなくても国語の授業で吸収可能ではないでしょうか。実際、道徳というのは座学で学ぶものではなく、日々の生活の中で習得していくものだと思います。今回の教材で言えば、相手の状況を思いやることの大切さ、というより、自分の状況を相手に伝える（安請け合いしない）ことも大切で、約束があるのに頼まれごとをされたらどのようにしたらよいか、ということを経験を送っていく上での基本を子供たちに考えさせるべきではないでしょうか。
- ▲発言するお子さんが限られていて、全員が意見を述べるのは難しいのだろうと感じました。
- ▲授業に積極的に参加している子とそうでない子に分かれていたのが気になりました。

4校時の講演会では、庭野優子先生（日本道徳科教育学会理事）を講師にお招きして、「ことばの力～自分も相手も大切に～」という演題でお話いただきました。話に引き込まれ、終了予定の時刻になっても名残惜しい気がする程、すばらしい講演会でした。

- 講演会では、たいへん参考になるお話を聞かせていただきました。
- 講演会の内容はわかりやすく、先生もハキハキとテンポ良く話されていて良かったです。聞くだけで終わってしまうのはもったいない気がしました。家に持ち帰って家族で話し合えればいいと思えました。
- 講師の先生がたいへんパワフルで元気をいただきました。
- 講演会の話は目からウロコで、日々の子供とのかかわりを見直さなくてはいけないと感じました。
- 参加型の講演会でとても楽しかったです。
- 講演会では、講師の先生のお話が楽しく、あっという間でした。「言霊」の意味について親子で考えるチャンスとなりました。

生活目標 「チャイムの合図を守りましょう」

あいさつ目標 『おはよう』は相手の目を見て元気よく」

保健目標 「皮ふをきたえ、丈夫なからだをつくろう」

給食目標 「すききらいしないで食べましょう」

平成29年 9月行事予定

1	金	2学期始業式 委員会活動(5校時)
2	土	※9月5日(火)の連合水泳記録会(6年生対象)実施の可否により、5日(火)と予備日の6日(水)の授業時程が変更になります。
3	日	
4	月	
5	火	連合水泳記録会(6年) 特別時程
6	水	図書委員会集会 読書週間始(～22日) 連合水泳記録会予備日(6年) 特別時程
7	木	ハッピータイム
8	金	プール納め 水泳指導終 身体計測(6年) 移動教室事前健診(6年)
9	土	学校公開日 防災関連授業 避難訓練 一斉防災訓練(引き取り訓練)
10	日	
11	月	下田移動教室始(6年) 身体計測(5年) あいさつ運動(2・4年 20日まで)
12	火	身体計測(4年) 保護者会(2・3年)
13	水	生活科図書館見学(2年) 身体計測(3年) 保護者会(4・5年)
14	木	下田移動教室終(6年) 身体計測(2年)
15	金	身体計測(1年)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	クラブ活動
20	水	研究授業(5年1組) 5年1組以外は午前授業 あいさつ運動終(2・4年)
21	木	
22	金	読書週間終
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	クラブ活動
26	火	
27	水	児童集会 視力(1年)
28	木	視力(2年) 学校保健委員会
29	金	視力(3年)
30	土	地区祭

安全教育

学校では、児童が安全に生活できるように教育活動を行っています。毎月の避難訓練や安全指導を通じて、「危険を予測し回避する能力」を育成しています。これは、身の回りの危険に気付いたり危険を予測したりして、安全な行動をとることができるようにするものです。今月9日(土)に実施されます防災訓練は、安全教育のもうひとつの柱である「他者や社会の安全に貢献できる資質や能力」の育成もねらいとしています。危険な状況に気付いたときに、速やかに知らせる態度や自分自身の安全だけでなく身近な人々の安全にも気配りをする態度、災害時のボランティア活動の大切さの理解や応急手当の技能など、学年の発達段階に応じた内容を指導します。当日は学校公開日ですので、多くの方に参観していただき、ご家庭でも安全な生活について話題にさせていただけますようお願いいたします。

生活指導部 阿部 誠

9月6日(水)～22日(金)は、 向山小・秋の読書週間です。

5月に募集しました寄贈本は、良本が多数集まり、早速学級文庫として各教室で児童の手に渡っています。ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

夏休み中には、新しい本が向山小の図書館にたくさん届きました。9月6日から始まる読書週間で、ぜひ新しい本を読んでほしいと思っています。読書週間では、次のようなことに取り組みます。

- ・図書館支援員 保谷先生と連携した図書の授業を行う。
- ・積極的に読書の時間を確保する。
- ・図書委員による図書集会を行う。
- ・図書委員が低学年へ読み聞かせをする。
- ・保谷先生による休み時間の読み聞かせタイムを実施する。
- ・貫井図書館と連携して授業で必要な本を団体貸し出しとして長期間借りる。

向山小ならではの読書週間です。皆さんがたくさんの本を手にとり、心豊かに成長していくことを祈っています。

図書委員会担当 山口のりこ 池ノ谷由佳